

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									3.4		
Q-1 室内環境							0.40		3.8		
1 音環境							2.6	0.15	3.0	1.00	2.9
1.1 騒音							2.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル							2.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策											
1.2 遮音							3.0	0.40	4.0	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音							3.0	0.20	1.0	0.21	
2 温熱環境							2.0	0.35	5.0	1.00	4.0
2.1 室温制御							3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温設定							3.0	0.60	-	-	
2 換気・加湿・除湿制御性											
3 外皮性能					W		3.0	0.40	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性											
5 温度・湿度制御											
6 個別制御											
7 時差・外気部に対する配慮											
8 監視システム											
2.2 湿度制御							1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式							1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境							3.3	0.25	3.4	1.00	3.4
3.1 昼光利用							4.2	0.30	4.6	0.30	
1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口									5.0	0.30	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							3.0	0.30	4.0	0.30	
1 透明部材のグレア											
2 昼光制御					W		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	1.0	0.15	
1 照度							3.0	1.00	1.0	1.00	
2 照度均等性											
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境							4.6	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策							5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学物質対策											
3 デニカ対策											
4 レジオネラ対策											
4.2 換気							4.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.50	
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮							5.0	0.50	3.0	0.50	
4 給気計画											
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	3.2
1 機能性							3.8	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性									3.0	-	
2 高度情報通信設備対応									4.0	1.00	
3 バリアフリー計画							3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性							5.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観							3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							3.0	-	-	-	
3 内装計画							5.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							2.8	0.31	-	-	2.8
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-	
1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							2.5	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新											
1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新											
2 配管・配線材の更新											
3 主要設備機器の更新											
2.4 信頼性							2.8	0.19	-	-	
1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備							4.0	0.20	-	-	
3 電気設備							1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備							3.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.6	0.29	3.4	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり							3.8	0.50	
1 階高のゆとり				階高は最低で3.06mとします	4.0	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					4.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					4.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.6	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性					2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.40	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.6
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制	W			住宅性能評価上の等級4を確保します	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			節電対応した照明を採用します	4.8	0.40	-	-	4.8
4 効率的運用						-	-	-	
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				1.0	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 節水	W			節水型大便器(大4.8L、小3.6L)を採用します	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				-	-	-	-	
2 低環境負荷材					3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			住戸間を含め乾式(LGS+PB)を多用します	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤の使用はありません	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制					2.3	0.10	-	-	2.3
3.1 風害の抑制					2.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				バルコニーがほぼ全周にまわるので、窓ガラス面への影響は少ないと考え	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					4.5	0.40	-	-	4.5
6.1 雨水処理負荷抑制	W				-	-	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					-	-	-	-	
6.3 交通負荷抑制				車寄せを確保しており、北側路面電車道路の渋滞緩和に寄与します	5.0	0.50	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	ディスプレイを採用します	4.0	0.50	-	-	

LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		12,156 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	-	-	-	4.8
	高効率化 個別設備による評価	4.8	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	4.0	-	-	-	-